

令和6年度「とっとり県民の日」アンケート調査結果

1 調査概要

- (1) 調査名称 「とっとり県民の日」アンケート調査
- (2) 調査期間 令和7年1月6日～1月31日
- (3) 調査対象
 - ア 公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に在学する児童・生徒（以下、「児童・生徒」という。）
 - イ 公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校（以下、「学校」という。）
- (4) 対象数
 - ア 児童・生徒
各学校の調査対象学年（小学校6年、中学校2年、高等学校2年、特別支援学校小学部5・6年、中学部2年、高等部2年）から抽出した3,502人
 - イ 学校
地域別に抽出した調査対象学年の児童・生徒の数が多き学校 43校
- (5) 回答率
 - ア 75.75%（2,653人／3,502人）
 - イ 100%（43校／43校）

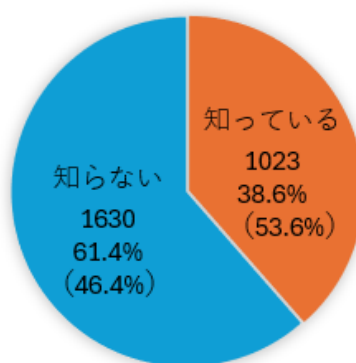
2 調査目的

「とっとり県民の日（9月12日）」は、県民がふるさとについての理解と関心を深めるとともに、ふるさを愛する心を育て、自信と誇りの持てる鳥取県を力を合わせて築き上げていくことを目指し、条例で制定されています。この趣旨に基づき、「とっとり県民の日」に関する学校での取組みとして、一斉取組の実施、ふるさと講師派遣事業の実施等、教育委員会と連携した事業の強化を図っているところであり、公立学校及び児童等への調査による事業の効果測定を行うとともに、今後の取組を検討するための資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しているものです。
なお、この調査は今回が3回目の実施です（第1回：平成26年度、第2回：令和元年度）。

3 調査結果 ※（ ）の数値は前回調査結果

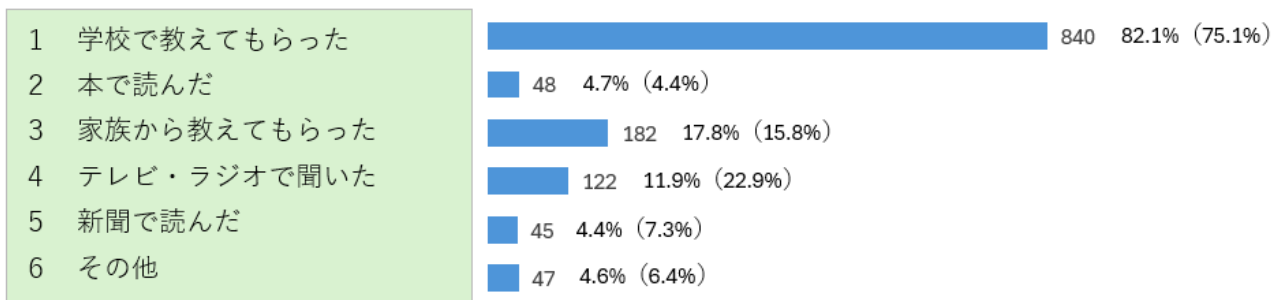
(1) 児童・生徒

問1 9月12日が「とっとり県民の日」だということを知っていますか？



⇒ 「とっとり県民の日」を認識していた児童・生徒は約4割。「知らない」と答えた割合が、調査開始以来初めて「知っている」を上回った。

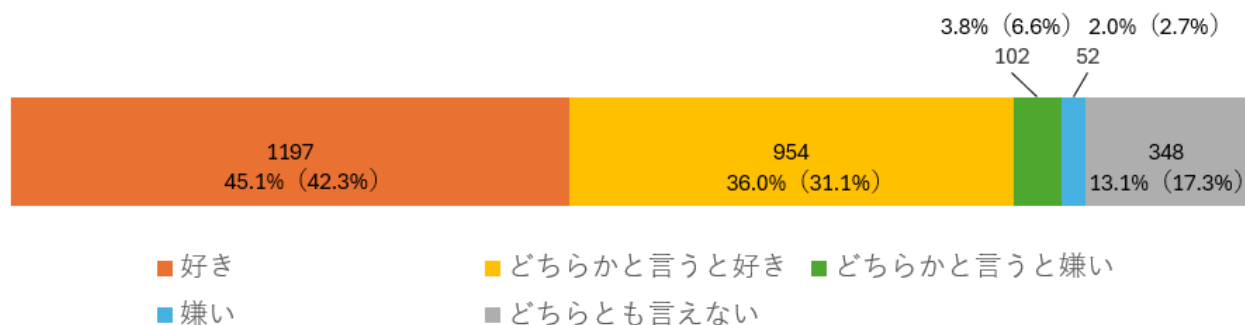
問2 問1の回答で「知っている」を選択された方にお尋ねします。
 どういう方法で「とっとり県民の日」を知りましたか？【複数回答可】



※その他：給食の献立、図書館に展示してあるパネル、学校の便り、インターネット、鳥取のことを調べているときに知った 等

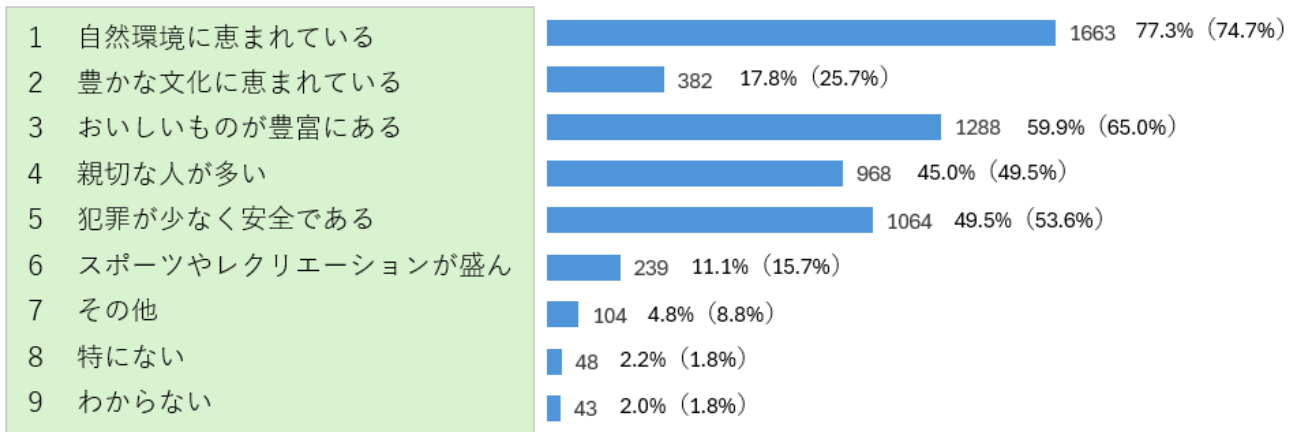
⇒ 「学校で教えてもらった」と回答した児童・生徒が約8割。「テレビ・ラジオで聞いた」が約1割で前回調査と比較して半減。

問3 鳥取県のことが好きですか？



⇒ 「好き」又は「どちらかと言うと好き」と回答した児童・生徒が約8割で前回調査と比較して微増。

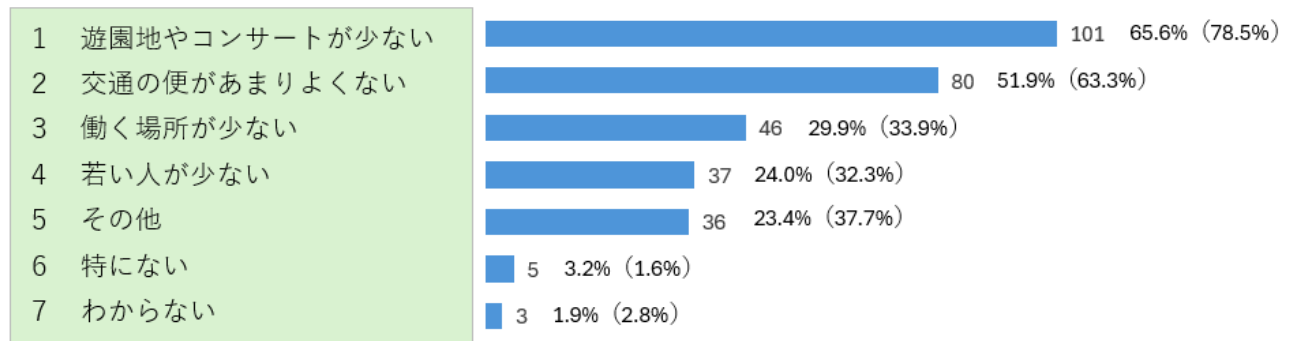
問4 問3の回答で、「好き」又は「どちらかという好き」を選択された方にお尋ねします。
 どんなところが好きですか？【複数回答可】



※その他：生まれ育ったところ、災害が少なく安心して生活できる、空気がおいしい、観光地が多い、騒音・渋滞が少ない、県出身の著名な人がいる、元気で笑顔な人が多い、静かで落ち着く 等

⇒ 前回調査と比較して、ほぼ変わりなし。

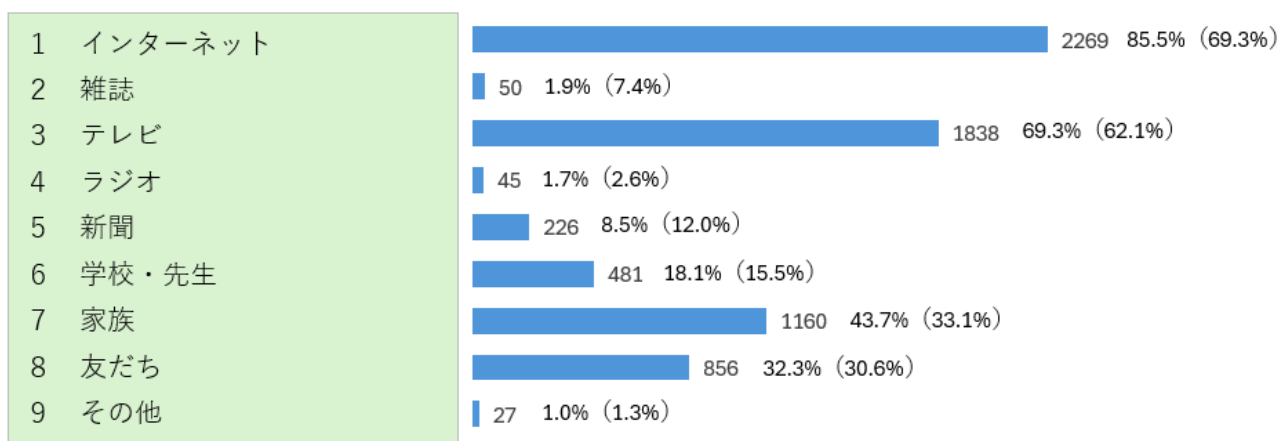
問5 問4の回答で、「嫌い」又は「どちらかという嫌い」を選択された方にお尋ねします。
 どんなところが嫌いですか？【複数回答可】



※その他：飲食店・アパレルショップなどの店が少ない、遊ぶ場所が少ない、田舎、賑わいがいい 等

⇒ 前回調査と比較して、ほぼ変わりなし。

問6 普段の生活に必要な情報をどのような方法で集めていますか？【3つまで回答可】

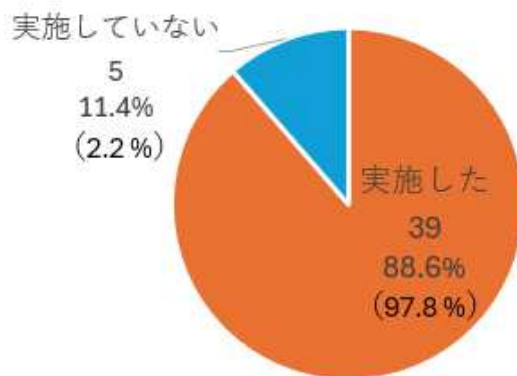


※その他：本、YouTube、周囲の人 等

⇒ 「インターネット」と回答した児童・生徒が8割を超え、前回調査と比較して約16%増加。

(2) 学校

問1 今年度、9月12日の一斉取組についてお願いしましたが、取組をされましたか？



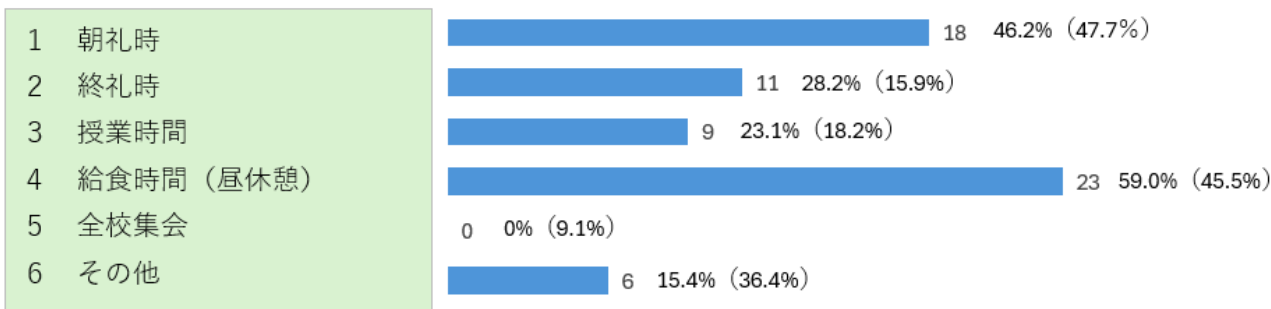
※重複回答：1

【一斉取組】

とっとり県民の日の当日である9月12日に、児童・生徒が鳥取県（住んでいる地域）及び、とっとり県民の日について考える機会を学校において設けていただく取組。

問2 問1の回答で「実施した」を選択された学校にお尋ねします。
 どういう方法で実施されましたか？【複数回答可】

(1) 実施時間



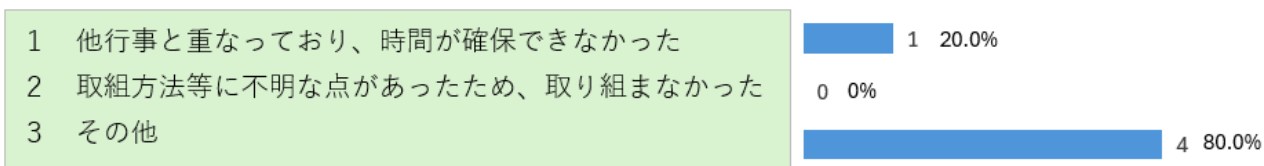
※その他：図書館で掲示、放課後に Google フォームを使ってクイズに解答させた 等

(2) 実施された内容を次の（ ）内にお書きください。

※今回の依頼に関係なく実施された内容についてもお書きください。

- ・鳥取県の特産物等の話をスライドにまとめ、全校で視聴した。
- ・県民の日のリーフレットを配布し、内容を紹介した。
- ・SHR や社会科等の授業で鳥取県の成り立ち、特産品、自然、文化などについて話をした。
- ・給食時間の校内放送で鳥取県に関するクイズを実施した。
- ・県民の日にちなんだ給食の献立に関する話をした。給食だよりで保護者にも紹介した。

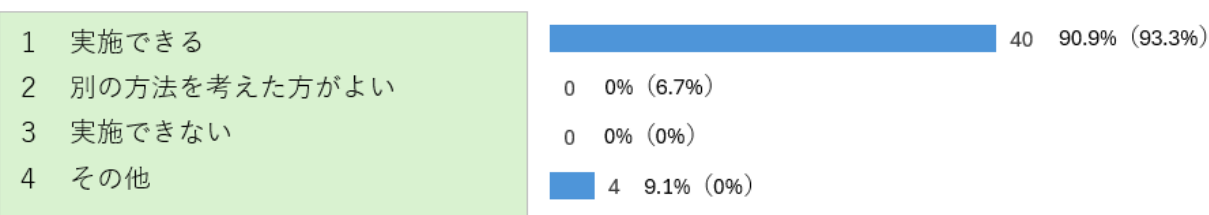
問3 実施されなかった理由を教えてください。



※前回調査は設問項目なし

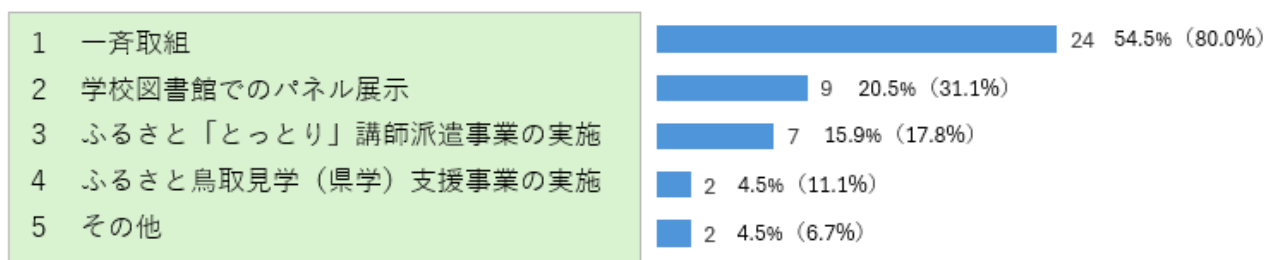
※その他：児童生徒の実態が様々であり、学習の設定をすることが難しかった。
 実施の有無を担当の判断に任せた。

問4 来年度以降も又は来年度から一斉取組を実施していただくことは可能ですか？



※その他：児童・生徒の実態に合わせて計画したい。負担にならない程度であれば実施できる。
 取組の期間を1週間程度設定するのはどうか。

問5 「とっとり県民の日」の取組として、学校においてどのような方法で取り組むことが効果的だと思いますか？



※前回調査は複数回答可

※その他：取組期間を1週間程度設け、学ぶ機会を増やす

【ふるさと「とっとり」講師派遣事業】

児童・生徒等へ鳥取県の歴史や地域の魅力を伝え、ふるさとへの愛着心を高めるため、専門的な知識を有する講師を学校に派遣する事業

【ふるさと鳥取見学（県学）支援事業】

県内の小学校が、県民の日に関する学習に併せて校外学習等を実施する際の経費を支援する事業

問6 県では、小冊子「鳥取県ができるまで」を6年生向けに配布していますが、その活用についてお答えください。【小学校のみの設問】

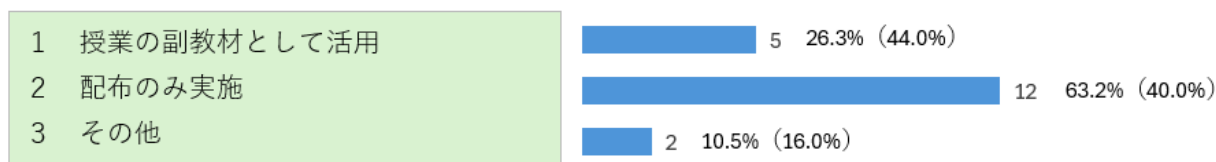
(1) 活用の有無



※重複回答：3

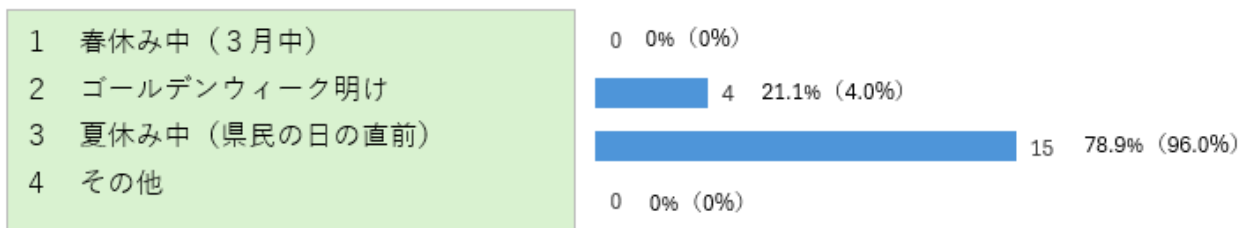
(2) 活用の方法

問6-1の回答で「活用している・今後活用する予定がある」を選択された方にお尋ねします。

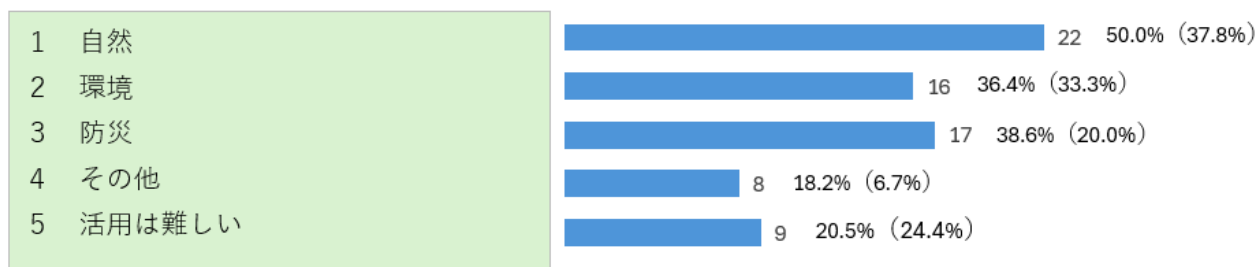


(3) 配布の時期

問6-1の回答で「活用している・今後活用する予定がある」を選択された方にお尋ねします。
この資料は今後も配布の継続を検討していますが、学校に配布する際適切だと思われる時期を教えてください。



問7 ふるさと「とっとり」講師派遣事業では、鳥取県の歴史・偉人を主なテーマに講師を派遣することとしていますが、こういった分野の講師派遣があれば、事業の活用を検討されますか？【複数回答可】



※その他：歴史、文化遺産、音楽、スポーツで活躍している方、鳥取の魅力を活かした企業運営、人材育成をしている方、体験的な活動ができる方 等

問8 問7で、「活用は難しい」を選択された理由は何ですか？【複数回答可】

